

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 千代田化工建設株式会社  
 コード番号 6366 URL <http://www.chiyoda-corp.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 主計部長 (氏名) 楠 真治  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 045-506-9410

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	344,106		3,040		6,463		3,425	
20年3月期第3四半期	459,002	37.3	16,743	20.4	25,977	1.9	15,998	4.8

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	13.58		13.58	
20年3月期第3四半期	83.22		83.17	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
21年3月期第3四半期	360,234		139,984		38.7		538.31	
20年3月期	378,819		81,637		21.4		422.44	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 139,588百万円 20年3月期 81,226百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期				10.00	10.00
21年3月期				6.00	6.00
21年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	450,000	25.4	7,000	20.8	10,000	47.7	5,000	48.1	19.68	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 社(社名) ) 除外 社(社名) )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの) 会計基準等の改正に伴う変更 有 以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ「[定性的情報・財務諸表等] 4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	260,262,529株	20年3月期	193,182,529株
期末自己株式数	21年3月期第3四半期	954,260株	20年3月期	903,520株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	252,260,754株	20年3月期第3四半期	192,256,169株

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「[定性的情報・財務諸表等] 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日)においては、世界的な景気の急減速により、これまでエネルギー需要の拡大に対応して検討されてきた海外のプラント建設計画や国内での石油・電力・ガス会社による設備投資の先行きに不透明感が出てきております。

このような状況下、当社グループは、既受注案件の確実な遂行に全力をあげて取り組みました。中でもロシア初のLNG(液化天然ガス)プラントや、カタールで建設を進めている超大型(年産780万トン級)LNGプラント6系列のうちの最初の1系列を完成させ、顧客に引き渡すことが出来ました。一方、昨年来懸案となっておりましたカタール・ガス社第6、第7トレイン建設工事にかかる顧客との工期延長及び契約金額の増額(チェンジ)交渉については概ね目処が立ちましたが、獲得したチェンジ金額がサブコンなどへの追加費用支払見込額を下回ったため、工事採算は悪化しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結受注工事高は1,398億28百万円(前年同四半期連結累計期間比34.0%減)、連結受注残高は4,498億41百万円(同43.9%減)となりました。また、連結完成工事高については3,441億6百万円(同25.0%減)、営業利益は30億40百万円(同81.8%減)、経常利益は64億63百万円(同75.1%減)、四半期純利益は34億25百万円(同78.6%減)となりました。

事業分野別の概況は、次のとおりです。

#### (天然ガス・電力分野)

海外では、産ガス国やエネルギー・メジャー各社によるガス関連への投資計画のもと、当社グループは調査業務や基本設計業務の受注に注力し、当第3四半期連結累計期間では、カタールにおけるバルザン陸上ガス処理設備プロジェクトの基本設計・遂行計画立案役務、パプアニューギニアにおけるLNGプラントのデザイン及びEPC(設計・調達・施工)見積り業務、アルジェリアにおけるLNGプロジェクトなどを受注しました。国内電力・ガス業界では、CO<sub>2</sub>の削減要請などに伴う原燃料のLNGへのシフトや、ガス販売事業への展開により、大型LNG受入基地の新增設が計画され、当社グループは、受注に向けて取り組みました。

#### (石油・石油化学・ガス化学分野)

第2四半期まで受注は堅調に推移しましたが、世界的な景気の急減速により、国内石油分野における設備投資の先行きに不透明感が出てきております。国内石油業界では、業界再編の動きが顕在化してきており、また、再編に伴う効率化追求の他に、環境問題、製油所の競争力強化、新エネルギー対応等が課題となってきました。

石油化学分野においては、景気の悪化による電機、自動車産業の生産縮小などに伴い、多くの投資案件が延期となりましたが、当社グループは、設備の保全、維持のための受注に注力するとともに、パイロット設備等開発型案件への取組みを進めました。

#### (一般化学・産業機械分野)

一般化学・産業機械分野においては、景気急減速の影響を受けて多くの設備投資計画が延期や見直しとなりましたが、将来性のある分野として世界的な太陽電池普及政策を反映した関連素材分野への受注に積極的に取り組みました。

医薬品関連分野では、近年の業界環境の変化に対応するため、工場・研究所の新增設をはじめとする設備投資意欲が高まったことに伴い、当社グループは好調に受注することができました。

#### (環境・その他分野)

環境分野においては、自社開発技術である排煙脱硫プロセス(CT-121)の営業活動を国内外で継続し、同分野をリードする欧州マーケットにて、デンマークの大手電力会社向けに技術供与することができました。

(注) 1 事業部門ごとの受注高、完成工事高、受注残高については、11ページを参照して下さい。

2 本文中における前年同四半期連結累計期間との比較は、平成20年3月期第3四半期財務・業績の概況に記載の連結経営成績との対比を行っています。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (資産の部)

第三者割当増資に伴う払い込みなどにより現金預金・譲渡性預金(有価証券)が合わせて 536億77百万円増加する一方、ジョイントベンチャー(JV)による大型案件の進捗に従いベンダー・サブコンへの支払が増加したことに伴うJV持分資産の減少 858億86百万円などにより流動資産は 150億56百万円減少しました。その結果、総資産は前連結会計年度末に比べ 185億85百万円減少しました。

### (負債の部)

未成工事受入金の減少 763億33百万円などにより、負債総額は前連結会計年度末に比べて 769億32百万円減少しました。

### (純資産の部)

第三者割当増資に伴う資本金の増加 304億54百万円、資本剰余金の増加 303億87百万円などにより株主資本が前連結会計年度末に比べ 623億2百万円増加した結果、純資産は 1,399億84百万円となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末比 17.3ポイント上昇し、38.7%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月14日発表の平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)業績予想を修正しております。詳細については本日別途開示いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5 . 四半期連結財務諸表  
 ( 1 ) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	40,820	60,484
受取手形・完成工事未収入金	45,261	36,368
有価証券	83,841	10,500
未成工事支出金	23,754	16,801
ジョイントベンチャー持分資産	106,797	192,683
その他	22,683	21,374
貸倒引当金	6	5
流動資産合計	323,151	338,207
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	8,026	8,354
土地	11,966	11,935
その他(純額)	2,023	2,782
有形固定資産計	22,015	23,072
無形固定資産		
投資その他の資産	4,607	4,714
投資有価証券	7,631	9,302
その他	3,192	4,012
貸倒引当金	362	490
投資その他の資産計	10,460	12,824
固定資産合計	37,083	40,612
資産合計	360,234	378,819

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	73,647	74,037
1年内返済予定の長期借入金	10,028	10,039
未払法人税等	2,785	1,408
未成工事受入金	108,688	185,022
完成工事補償引当金	3,374	2,098
工事損失引当金	4,341	4,044
賞与引当金	2,219	4,196
その他	12,720	13,137
流動負債合計	217,805	293,986
固定負債		
長期借入金	8	22
引当金	2,073	2,226
その他	362	947
固定負債合計	2,443	3,196
負債合計	220,249	297,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,389	12,934
資本剰余金	37,105	6,718
利益剰余金	66,658	65,155
自己株式	1,101	1,059
株主資本合計	146,050	83,748
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	569	847
繰延ヘッジ損益	5,143	1,667
為替換算調整勘定	748	6
評価・換算差額等合計	6,462	2,521
少数株主持分	396	410
純資産合計	139,984	81,637
負債純資産合計	360,234	378,819

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
完成工事高	344,106
完成工事原価	332,226
完成工事総利益	11,880
販売費及び一般管理費	8,839
営業利益	3,040
営業外収益	
受取利息	3,883
受取配当金	646
持分法による投資利益	93
不動産賃貸料	195
その他	115
営業外収益合計	4,933
営業外費用	
支払利息	257
為替差損	790
株式交付費	271
不動産賃貸費用	117
その他	72
営業外費用合計	1,510
経常利益	6,463
特別利益	
貸倒引当金戻入額	124
特別利益合計	124
特別損失	
投資有価証券評価損	1,859
その他	53
特別損失合計	1,913
税金等調整前四半期純利益	4,673
法人税、住民税及び事業税	4,304
法人税等調整額	3,073
法人税等合計	1,230
少数株主利益	17
四半期純利益	3,425

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,673
減価償却費	1,461
受取利息及び受取配当金	4,529
投資有価証券評価損益(は益)	1,859
売上債権の増減額(は増加)	9,470
未成工事支出金の増減額(は増加)	6,967
仕入債務の増減額(は減少)	82
未成工事受入金の増減額(は減少)	76,238
ジョイントベンチャー持分資産の増減額(は増加)	85,886
その他	665
小計	4,072
利息及び配当金の受取額	1,221
利息の支払額	334
法人税等の支払額	39
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,224
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	888
有形固定資産の取得による支出	343
無形固定資産の取得による支出	844
その他	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	341
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	25
株式の発行による収入	60,570
配当金の支払額	1,919
少数株主への配当金の支払額	10
その他	42
財務活動によるキャッシュ・フロー	58,573
現金及び現金同等物に係る換算差額	494
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	54,512
現金及び現金同等物の期首残高	70,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	124,601

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年4月30日付で、三菱商事株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期連結会計期間において資本金が30,454百万円、資本準備金が30,387百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が43,389百万円、資本剰余金が37,105百万円となっております。



「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		
	金額(百万円)		百分比 (%)
完成工事高		459,002	100.0
完成工事原価		433,462	94.4
完成工事総利益		25,540	5.6
販売費及び一般管理費		8,797	1.9
営業利益		16,743	3.7
営業外収益			
1 受取利息	8,796		
2 受取配当金	335		
3 持分法による投資利益	229		
4 その他	615	9,977	2.2
営業外費用			
1 支払利息	316		
2 その他	425	742	0.2
経常利益		25,977	5.7
特別利益			
1 投資有価証券売却益	644		
2 貸倒引当金戻入額	37		
3 その他	72	754	0.2
特別損失			
1 投資有価証券評価損	194		
2 その他	0	195	0.1
税金等調整前四半期純利益		26,537	5.8
税金費用		10,528	2.3
少数株主利益		10	0.0
四半期純利益		15,998	3.5

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	26,537
減価償却費	1,131
売上債権の増減額(は増加)	3,946
未成工事支出金の増減額(は増加)	2,159
仕入債務の増減額(は減少)	5,348
未成工事受入金の増減額(は減少)	838
ジョイントベンチャー持分資産の増減額(は増加)	17,824
その他	9,471
小計	23,727
利息及び配当金の受取額	743
利息の支払額	313
法人税等の支払額	20,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	1,132
投資有価証券の取得による支出	498
投資有価証券の売却による収入	839
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	115
長期貸付金の回収による収入	28
その他	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	863
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	14,149
株式の発行による収入	6
配当金の支払額	2,879
少数株主への配当金の支払額	12
その他	147
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,182
現金及び現金同等物に係る換算差額	111
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	14,444
現金及び現金同等物の期首残高	77,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	62,607

6. 生産、受注及び販売の状況（連結）

事業部門の名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		
	受注高 (構成比)	完成工事高 (構成比)	受注残高 (構成比)	受注高 (構成比)	完成工事高 (構成比)	受注残高 (構成比)
1 エンジニアリング 事業	207,518 ( 98.0%)	454,764 ( 99.1%)	802,149 (100.0%)	134,902 ( 96.5%)	339,493 ( 98.7%)	449,232 ( 99.9%)
(1) LNGプラント 関係	43,373 ( 20.5%)	307,396 ( 67.0%)	384,875 ( 48.0%)	39,177 ( 28.0%)	156,642 ( 45.5%)	161,703 ( 35.9%)
(2) その他ガス・ 動力関係	28,863 ( 13.6%)	63,854 ( 13.9%)	260,272 ( 32.5%)	19,342 ( 13.8%)	100,748 ( 29.3%)	140,228 ( 31.2%)
(3) ガス化学関係	217 ( 0.1%)	702 ( 0.2%)	1,229 ( 0.1%)	105 ( 0.1%)	181 ( 0.1%)	997 ( 0.2%)
(4) 石油・ 石油化学関係	97,618 ( 46.1%)	54,218 ( 11.8%)	116,478 ( 14.5%)	47,501 ( 34.0%)	55,711 ( 16.2%)	98,050 ( 21.8%)
(5) 一般化学関係	17,761 ( 8.4%)	18,225 ( 4.0%)	17,303 ( 2.2%)	22,664 ( 16.2%)	13,940 ( 4.0%)	28,689 ( 6.4%)
(6) 一般産業機械関係	4,470 ( 2.1%)	6,821 ( 1.5%)	3,061 ( 0.4%)	1,950 ( 1.4%)	4,463 ( 1.3%)	4,383 ( 1.0%)
(7) 環境関係・その他	15,214 ( 7.2%)	3,545 ( 0.7%)	18,928 ( 2.3%)	4,159 ( 3.0%)	7,805 ( 2.3%)	15,178 ( 3.4%)
2 その他の事業	4,238 ( 2.0%)	4,238 ( 0.9%)	- ( - )	4,925 ( 3.5%)	4,613 ( 1.3%)	609 ( 0.1%)
合 計	211,757 (100.0%)	459,002 (100.0%)	802,149 (100.0%)	139,828 (100.0%)	344,106 (100.0%)	449,841 (100.0%)
国 内	120,046 ( 56.7%)	85,390 ( 18.6%)	178,745 ( 22.3%)	82,865 ( 59.3%)	79,336 ( 23.1%)	193,114 ( 42.9%)
海 外	91,711 ( 43.3%)	373,612 ( 81.4%)	623,404 ( 77.7%)	56,962 ( 40.7%)	264,770 ( 76.9%)	256,726 ( 57.1%)

(注) 受注残高を算出するに当たっては、前連結会計年度以前に受注した工事の契約変更等による減額分並びに受注高の調整による増額分及び外貨建契約に関する為替換算修正に伴う増減額の合計を加味しております。